



目次

イベントのお知らせ 一宮学園で映画を観よう!	1
児童養護施設を退園して すぐに困っていること	2~3
お布団プレゼンター募集	3
寄付・募金のご報告など	4



児童虐待防止キャンペーン



<http://www.umareru.jp/whatisumareru.htm>

両親の不仲、虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦。出産予定日にわが子を失った夫婦。子どもを望んだものの、授からない人生を受け入れた夫婦。完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。

11月9日(土)
一宮学園で映画を観よう!

昨年に引き続き、イベントを開催します!

今回は3部構成です。

赤ちゃん同伴でも気兼ねしないで観ることができる第一部。ママさん、パパさん。ホッと肩の力を抜いて映画を楽しんでくださいね。

映画を観た後は、心が動き余韻が残ります。黙って家に帰らないで少しおしゃべりをしていきませんか。第二部では映画の後に、同じ命なのに不平等に苦しんでいる一宮学園を卒園した子どものことを知っていただきたいと思います。そしてみんなでおしゃべりしましょう。

第三部は、一宮学園の高校生限定で上映します。自分の命について振り返ってみてほしいのです。命は神秘的な奇跡の連続です。「うまれてきてくれてありがとう」と伝えたいと思います。

【後援】

千葉県

一宮町

千葉県児童福祉施設協議会

一般社団法人千葉助産師会

協賛募集中!



児童養護施設を退園してすぐに困っていること

児童養護施設を退園してすぐに困っていること

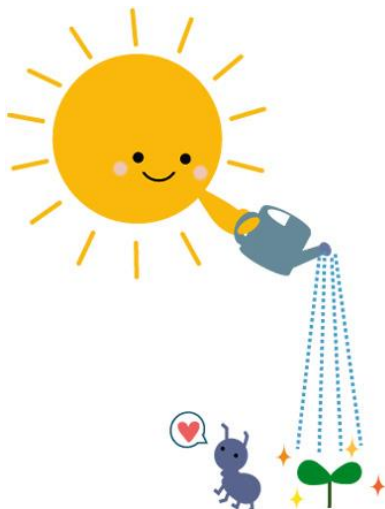
一宮学園施設長 橘 昭平

【孤独感・孤立感】

施設を退園した児童のいくつかの調査で、常に上位になるのが、「孤独感・孤立感」である。ところが施設で生活しているときには「一人で落ち着ける空間が欲しい」との要望が、多くの児童から出されている。施設児童は常に多くの人々に囲まれて生活していて、児童居室も当園では二人部屋が最小単位であり一人にはなれない。退園し自立生活を送るとようやく一人のスペースと時間が手に入るのだが、退園すると「孤独感・孤立感」を感じるようになる。この感覚は物理的な「一人感」というよりは、精神的な感覚と考えるべきで、人との繋がり、支えが無いことの寂しさであろう。退園した女子児童が援助交際をしているとの話を聞いたことがある。金銭的な収入のためということもあるのだろうが、自分の父親ほど年齢の違う男性との交際は「孤独感・孤立感」の癒しというような側面もあるのではないかと感じた。

【金銭管理】

公的に支給される自立準備金では到底間に合わないので、当園では高校生になるとアルバイトを推奨している。アルバイトで得たお金は、小遣いとして使ってよい上限を設けているが、「自分で稼いだお金だから」と、無駄遣いと思えるような使い方をする児童がいる。精神的に満たされない部分を物で満たそうというような感覚があるのである。退園後も不相应と思えるようなブランド品や高級車を手に入れるような生活をしていながら、「家賃を 3 ヶ月滞納しているのですが」と不動産屋から当園に連絡が入ったことがある。また、部活を頑張ったので、アルバイトができなかった退園児は、福祉関係の民間機関から生活費を借りて自立生活をスタートさせたが、就職・離職を繰り返し、決して高くはない給料でギリギリの生活をし、借金の返済もまだ残っているにも関わらず、新聞の勧誘を断れずに購買契約を結んでしまった。この場合は「金銭管理」というよりも、社会生活をする上での経験不足ということかもしれない。かなり前の話だが、木の箱に入った高価そうな高麗人参のサプリメントを 2~3 回、退園生からお土産としてもらった。おかしいと思って聞いてみたら、その頃社会的に大問題となっていた「統一教会」系の高麗人参であり、私が説明したが、自分は絶対騙されていないと言い張っていた。



【職場での人間関係】

「職場での人間関係」は退園児童でなくても大きな問題であり、離職理由の上位になっている。少し昔の話になってしまうが、「施設出身者は真面目な子どもも沢山いる。この仕事をやりなさいと指示を出すと、一生懸命やる。しかし、指示した仕事をやり終えると、黙って立っている。終わりました、次は何をしたらよいですか。と質問できない」という話を聞いたことがある。全部の児童がそうだとは思えないが、施設ではいわゆる「当番」さえやれば後は知らない、というような風潮があった。また他人にものをたずねるといことは、相手を信頼していないとなかなか聞けないものだ。普通に世間で生活している人は、原則、何かを聞けば教えてくれるものだというような「信頼感」を自然に身につけているが、それが育ってないとすれば、自立するととても困ってしまうことになる。

こうしてみると、我々職員の仕事はかなり重大な仕事である。自立の時期を迎えるまでに、心にポツカリとあいた孤独の穴を埋め、正常な金銭感覚や生活の知恵を身につけさせ、コミュニケーションの力をつけさせねばならない。この難題に苦悩しているのが現状だが、はじめのいっぽ後援会の物心両面からのご支援には心強く感じている。そして皆様からのご好意は、一宮学園の退園児が立派な社会人になることでお返しできたらと考えています。

退園する子どもたちに、お布団をプレゼントしよう！

・・・おふとんプレゼント募集中・・・

子どもによって進路はそれぞれ違って、共通して必要なものがあります。それは**新品のお布団**です。「今日電車遅れちゃってさ～」「あー疲れた…」なんて何気ない話をする相手って、意外と大切だったんだ、としみじみ思う一人暮らし。心に言葉が溜まっていきます。

でも、慣れない一人暮らしでも、夜、ふかふかの気持ちよいお布団にくるまれば、きっと朝はスッキリ！がんばれるはず！

来年の 4 月に旅立つ子どもは 人。
ひとり分の組布団・・・10,000 円
毛布・・・ 5,000 円
一口5,000で募集します。

目標 15万円



◆寄付・募金のご報告◆

お金の寄付だけでなく、必要性に応じて中古車や扇風機、浴衣など、物によるご寄付もありました。ありがたく使わせていただいています。

皆様のご協力に感謝もうしあげます。ありがとうございました。

(順不同 敬称略 一宮学園職員、後援会関係者は除く)

(入れ違いで掲載されなかった場合は次号にてご紹介させていただきます)

平成 25 年 5 月～平成 25 年 8 月

…寄付…

御領恵美子	橋本悦子	(有)新加藤②	小高稔	CAP ぼけっと	田中紀子
(株)千葉トーハツ商会		水谷直彦	田中保蔵	(株)三晃	穴倉正胤
松葉博子	荒木小夏	長峰敏昌	Michael Rodriguez		ほか匿名6名

…募金…

民生委員児童委員白子・長生村合同研修会

●支援のお願い

郵便局 □座番号 00170-8-663629 一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

★他金融機関からの振込用口座は・・・店 019 当座 0663629

物による支援は保管場所がないため、そのときの子どものニーズにあったものを頂戴したいと思います。お手数で申し訳ないのですが、まずは 080-6535-0977 荒木までご連絡をお願いします。

編集後記

今年の夏ほど異常気象を感じた年はありませんでした。ここは亜熱帯か?! 何しろ暑かった。短い夏休みをとりましたが、外出時に愛犬と家族の熱中症予防ばかりに気を配り、なんと自分が熱中症になってしまいました。すぐに対処したので大事にはいたりませんでした。自分のことも、もっと気を配らないといけませんね。(ひで)

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内

事務局 電話 080-6535-0977 (荒木)

E-MAIL : hajimeno.1.2.3po@gmail.com

<http://ichinomiyaakuen.jp/hajimenoippo/>